

リーディングDXスクール事業【実践事例】

山梨市立 加納岩小学校 (山梨県)【指定校】

【取組内容】 スプレッドシートを用いた英語家庭学習取組表

番号	氏名	自分の課題	単元	コンテンツ	スピード	回数	今日の学習を振り返って・次回にむけての課題	課題の振り返り	先生から
1		ストーリーを確認して単語絵を覚えよう。	Unit5	STORY	1	4		とてもよくできた	?
2		Unit 5のストーリーを確認して単語を覚えよう。	Unit5	STORY	1	1	Unit 5でやるのがわかった。欲しい物や好きなものの言い方がわかった。もうすでに言えるから内容を増やしていきたい。	とてもよくできた	👍
3		Unit5の内容を知ろう	Unit5	STORY	1	4	Unit5は、好きなものや欲しい物、人のことを紹介するUnitだった。人を紹介するときに、famousなどのことを使って紹介するとより具体的になると思った。	まあまあよくできた	💡
4		Unit5の単語練習をしよう。	Unit5	STORY	1	2	ものや欲しい物、人の性格、人を紹介するUnitだった。欲しいものにwantを使うとわかった。また、あの人は有名です。などの文にはfamous(有名)を使うとわかった。	まあまあよくできた	👍
5		unit 5の内容を確認しよう	Unit5	STORY	1	1	ストーリーと、チャンツの中で内容は確認した。だけど、単語をまだ上手く言えているわけだけではないから、今度は、単語もちゃんと言えるようにする		👍
6		unit 5をやろう	Unit5	Step			単語やチャンツなどがすこしだけできるようになった。人の職業や性格も言うことが少しわかった。この単元で話すことを決められた。少し難しそう	まあまあよくできた	👍

「単元」「コンテンツ」「スピード」「回数」を4サイクル分まで記録できる仕組みになっている

取り組みの概要

- 英語科(5・6年)で実施
- 入力画面は一覧表示
- 家庭学習を宿題にするときに、教師はその日のシートを用意する
- 教師は、児童の取り組みの様子を把握し、「先生から」の欄に励ましサインを入れる

児童の取り組み方法

- 家庭学習に取り組むときには、自分の課題を決める(単元は問わない)
- 自分の課題にそって、主にデジタル教科書を活用しながら学習する
- 最後には振り返りを記入する

取り組みによる成果☆

- ☆自分で学習内容を決定できることで、学習内容の幅が広がった。フラッシュカードを使用した語彙習得、歌やチャンツを活用した口慣らし、リスニング教材に再度取り組む、単元のゴールの活動にむけて伝えたい内容を考える等
- ☆友達の取り組み内容や、課題に書かれていることを参考にし、自分の学習内容を考えたり、学び方のヒントを得ている児童がでてきた

これからの課題△

- △家庭学習を授業に有機的に結び付けるために、授業時に、家庭学習に結び付く内容について意図的に教師が触れることが必要